

営農企画部

土壌肥料技術研修 開催

平成28年6月28日、農業技術センター会議室において、営農・購買・渉外業務の担当歴が5年以下のJA職員を対象とした「土壌肥料技術研修（基礎コース）」を開催、52名が受講しました。研修内容としては、組合員に土壌分析項目の説明や肥料のアドバイスが行えるよう、左の項目の研修を実施しました。

1. 作物の養分と役割
2. 土壌の役割と診断方法
3. 土壌中の養分
4. 土性の判定方法
5. 肥料の基礎知識

土性の判定方法では、砂土（砂）と埴土（粘土）といった5段階に分類した土壌サンプルを実際に触って、その違いを確かめました。

研修後のアンケートでは、栽培技術や病害虫の種類、効果的な農薬の使用方法などについての研修を開催してほしいとの要望がありました。



研修会の様子

次回、11月29日開催の「同研修（応用コース）」では、受講生をグループに分け、土壌分析結果の例をもとに、各グループごとに施肥設計・処方箋を作成・発表し、その内容について他の受講生に意見を出してもらった内容を予定しています。基礎コースと併せて応用コースの受講も取りまとめましたが、10月末に再度受付の案内をします。新たに受講希望される方は、その際に申込みください。

畜産部

JA会津よつば齋藤栄信氏が最優秀賞に輝く

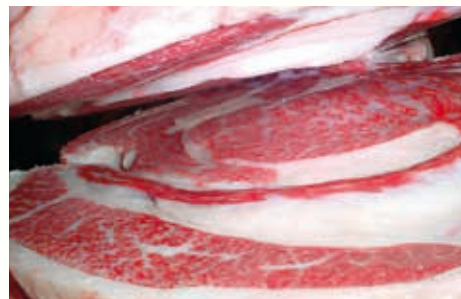
第18回全農肉牛枝肉共励会開催

JA全農は、平成28年7月1日（金）に、東京都中央卸売市場食肉市場において、第18回全農肉牛枝肉共励会を開催しました。この共励会は、肉用牛肥育技術の確立と枝肉の品質向上、および経済性の追求を支援するために開催され、和牛去勢、和牛雌、交雑（去勢・雌）の3部に分かれ、全国から300頭の肉牛が出荷されました。JAグループ福島からは50頭が出陳され、このうち、和牛雌の部で、JA会津よつば齋藤栄信氏の枝肉が最優秀賞に、(有)武田ファームの枝肉が優秀賞の栄誉に輝きました。最優秀賞に選ばれた齋藤栄信氏の枝肉は5,026円/kgでセリ落とされ、非常に迫力があるとの評価でした。

この最優秀賞を受賞した和牛を焼肉牛豊で限定メニューとして8月5日より提供予定です。なくなり次第終了となりますので、是非ご来店いただき、脂の乗った最優秀牛をご賞味ください。



最優秀賞に輝いた齋藤栄信氏の枝肉セリ価格



最優秀賞に輝いた齋藤栄信氏の枝肉

園芸部

タイ向けモモの輸出第一便が出発！

7月20日にJAふくしま未来の湯野共選場にて、タイ向けモモの輸出第一便出発式が執り行われました。

湯野共選場には鈴木正晃副知事をはじめJAふくしま未来の伊藤昌廣専務、JA全農福島の佐藤副本部長をはじめ多くの方が出席し、輸出に向けて出発するトラックを見送りました。

年々拡大する福島県産青果物の輸出ですが、今年も桃の輸出を積



タイへおいしいふくしまのモモを輸出します



出発式の様子

極的に実施して行く予定です。

今回、タイ向けの桃ではCAコンテナ海上輸送技術を使用し、輸送費を大幅に抑える事で、現地の一般的な消費者まで福島県産の美味しいモモを届ける事が可能となります。「あかつき」を中心としたモモを多く輸出する事で、国内のみならず世界で誇れる福島のモモを目指し、今後も輸出事業に積極的に取り組みます。

生産資材部

JAグループ福島農業機械展示会「アグリフェア2016 in ふくしま」開催！

毎年恒例のJAグループ福島農業機械展示会「アグリフェア」が7月6日から8日までの3日間、郡山市のビッグパレットふくしまにて盛大に開催されました。今年度は3日間累計で3,228名の方にご来場頂きました。

本年度展示会の特色としては、営農管理をデータ・数値によって「見える化」すべく、情報通信技術（ICT農機）の搭載が際立っており、スマートフォンなど端末を活用した圃場のデータ化によ

り、効率的なコスト管理を可能にし、多種多様な農家組合員の皆様のニーズにこたえられる時代になりつつあるのだと強く実感しました。また、大規模担い手・法人向けの提案として、フレコン出荷設備による出荷体系紹介コーナーを設置しました。

今後も手取り最大化に向けた取り組みをすべく低コスト提案、新技術等の情報発信に取り組みます。



多くの来場者で賑わう屋内展示コーナー



屋外展示コーナーの130馬力トラクタ